

表-3.3.1(2) 樹林性及び湿地性の対象種の移動先候補についての選定結果

移動対象種			移動先候補の選定状況		
分類群	種名	生活型	選定箇所一覧	選定数	選定の概要
昆虫類	オオシマミドリカミキリ	樹林性 (陸上種)	※重要な種の保護の観点から、表示していません。	14	湿潤な谷部の樹林環境を有する箇所を選定した。
	フタオチョウ	樹林性 (陸上種)		3	食草であるヤエヤマネコノチチが存在する箇所を選定した。
	ヤママユ 沖縄亜種	樹林性 (陸上種)		16	発達したイタジイ群落が周辺に存在する箇所を選定した。
	クニガミスゲドクガ	樹林性 (陸上種)		7	下草のイネ科草本が密な箇所を選定した。
クモ類	キノボリタテグモ	樹林性 (陸上種)		17	リュウキュウマツやイタジイの大径木が存在する箇所を選定した。
陸産 貝類	リュウキュウゴマガイ	樹林性 (陸上種)		38	多様な植生群落で確認されており、樹林地の尾根部を中心に多くの箇所を選定した。
	ノミガイ	樹林性 (陸上種)		3	生息が確認され、かつ幅広い生息環境が連続する箇所を選定した。
	サカヅキノミギセル	樹林性 (陸上種)		9	尾根部の乾燥した樹林環境を有する箇所を選定した。
	オキナワヤマタカマイマイ	樹林性 (陸上種)		33	谷部の湿潤な樹林環境を有する箇所を選定した。
	ウロコケマイマイ	樹林性 (陸上種)		25	谷部の湿潤な樹林環境を有する箇所を選定した。
	トウガタホソマイマイ	樹林性 (陸上種)	4	生息基盤であるクワズイモ等が密に存在する箇所を選定した。	

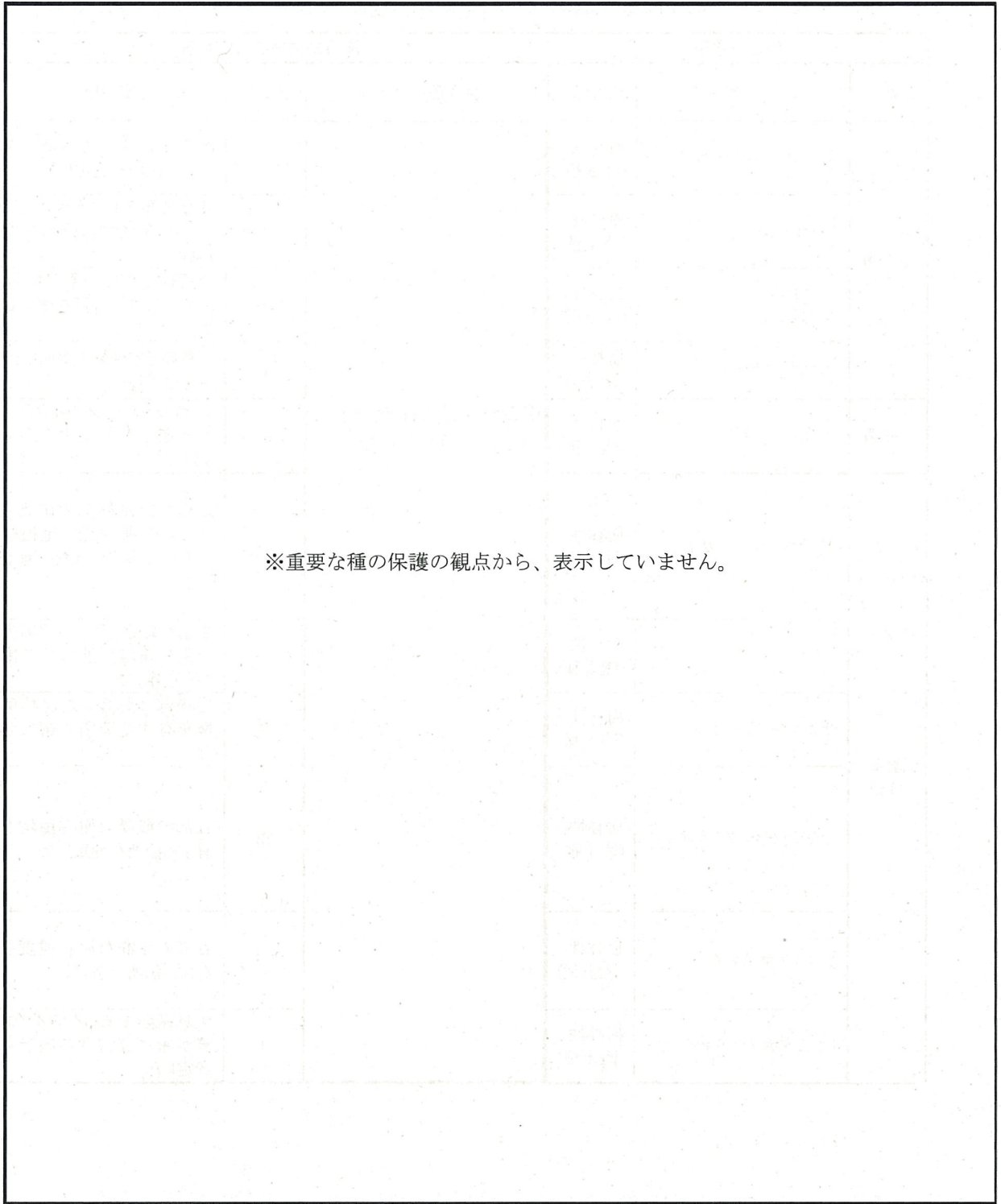


図-3.3.2 樹林性及び湿地性の対象種の移動先位置図

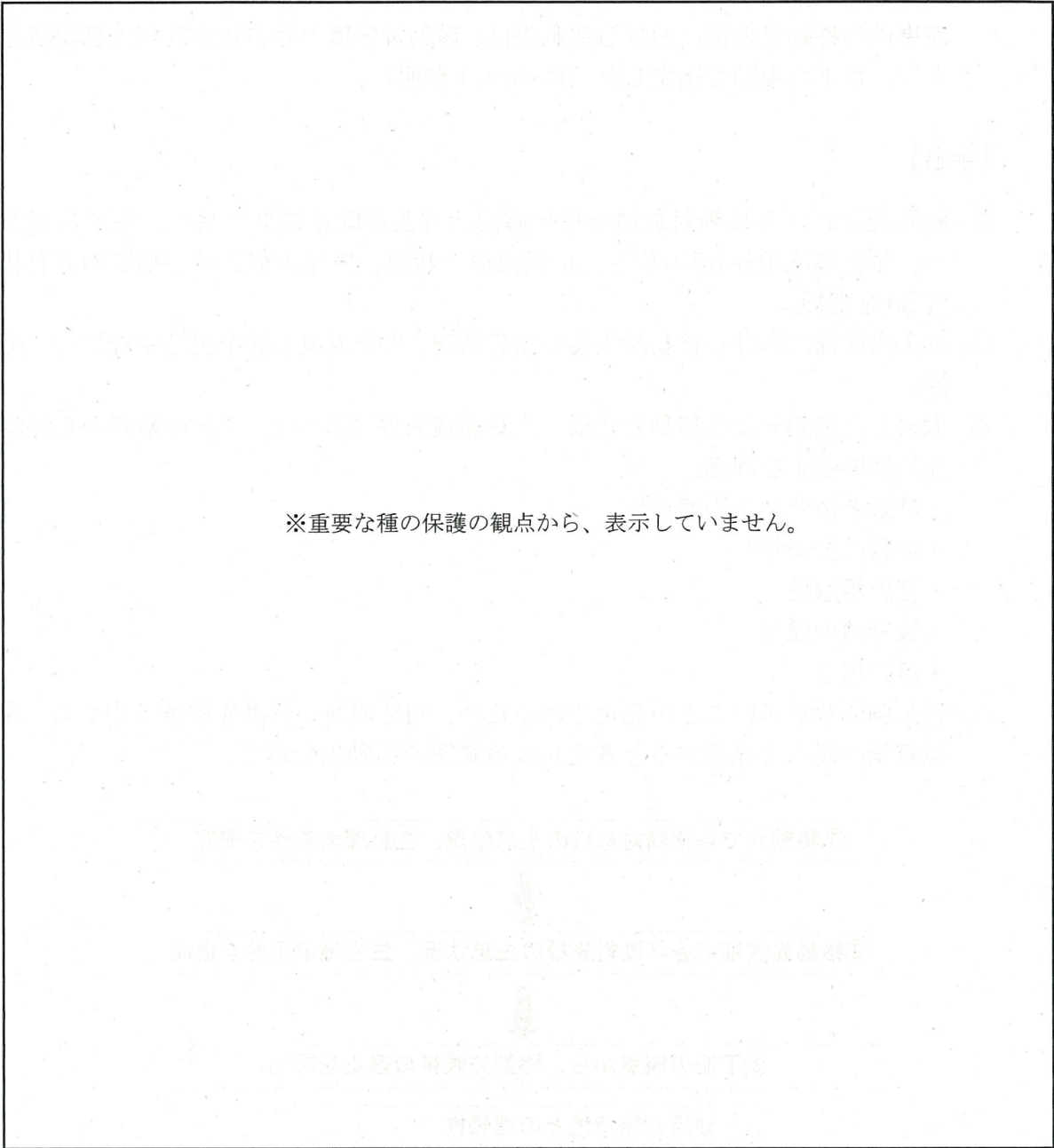


図-3.3.3 移動先候補からの移動先の選定イメージ（オニヤンマで例示）

3.3.2 海岸性の対象種

海岸性の移動対象種における移動先は、移動対象種の分布状況及び生息環境をもとに、以下の手順で選定した（図-3.3.4 参照）。

【手順】

- ① 移動元における移動対象種の現地確認状況及び既存知見に基づく生態情報から、生息環境条件（浜の広さ、前面海岸の状況、植生、宿貝数、転石の分布状況等）を把握。
- ② 移動先候補における移動対象種の生息状況、生息環境条件を現地踏査により把握。
- ③ 取得した移動元及び移動先候補の生息環境条件に基づき、下記の観点から移動先候補の適正を評価。
 - ・ 砂浜と後背地との連続性
 - ・ 宿貝の分布量
 - ・ 産卵場適性
 - ・ 後背地の植生
 - ・ 浜の広さ
- ④ 移動個体数が多いことが想定されるため、適性の高い移動先候補の中から、環境容量の観点で充足すると考えられる範囲の移動先を選定。

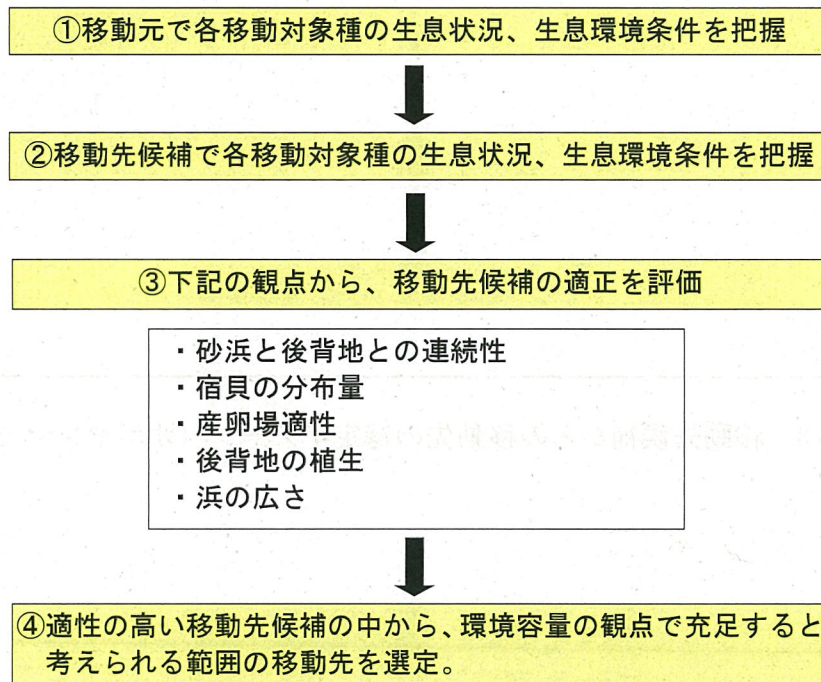


図-3.3.4 海岸性の対象種の移動先選定手順

海岸性の対象種の移動先についての選定結果を表-3.3.2に、移動先位置図を図-3.3.5に、それぞれ示す。現地踏査の結果、地点●が最も移動先としての適性が高いと考えられた。しかしながら、移動元の個体をすべて地点●へ移動した場合、生息密度が著しく高くなると推定されたため、地点●、地点●、地点●、地点●へ分散移動することとする。また、コムラサキオカヤドカリ、ミナミオカガニに関しては、干潟が広範に広がる地点●を移動先として選定した。

表-3.3.2 海岸性の対象種の移動先についての選定結果

地点番号	砂浜と後背地との連続性	宿貝の分布量	産卵場適性	後背地の植生	浜の広さ	総合評価
※重要な種の保護の観点から、表示していません。	○	×	○	△	△	×
	○	×	○	△	△	×
	○	×	○	△	△	×
	○	×	×	△	△	×
	△	△	×	△	○	△
	○	△	×	○	○	×
	○	×	○	△	△	×
	○	×	○	△	△	×
	○	×	○	△	△	×
	×	△	×	×	△	×
	○	×	×	△	△	×
	○	×	○	△	△	×
	○	△	○	△	△	△
	○	○	○	○	○	○
	○	×	○	○	○	△
	○	×	○	○	△	×
	○	×	○	○	△	×
	○	△	○	○	△	△

注) 「○」は最良、「△」は良好、「×」は劣る、を示す。

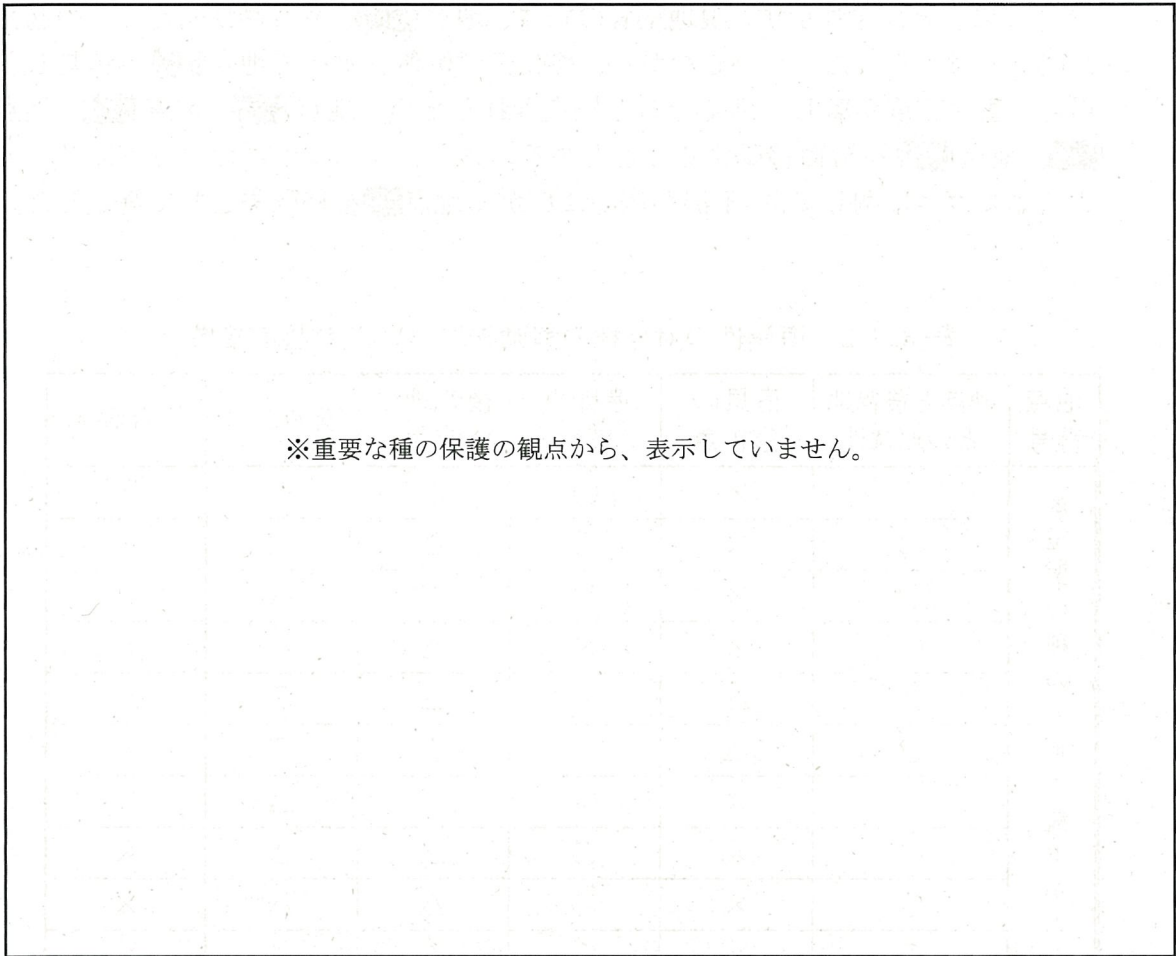


図-3.3.5 海岸性の対象種の移動先位置図



3.4 陸生動物の移動方法

陸生動物の移動方法は、移動対象種の生態的特性を整理し、種ごとに適した「捕獲方法」、「輸送方法」、「放逐方法」を検討した。

3.4.1 樹林性及び湿地性の対象種

(1) 捕獲方法

捕獲は、既往調査における確認箇所や移動対象種の生態特性をもとに重点的に探索を行う必要があると考えられた箇所を中心に、改変区域内に図-3.4.1に示すよう踏査ルートを設定した。その上で、移動対象種の生息場所や生活様式を踏まえ、表-3.4.1に示すように捕獲方法を整理した。なお、捕獲時に混獲された外来種に対しては、適正な手法で処分することとする。

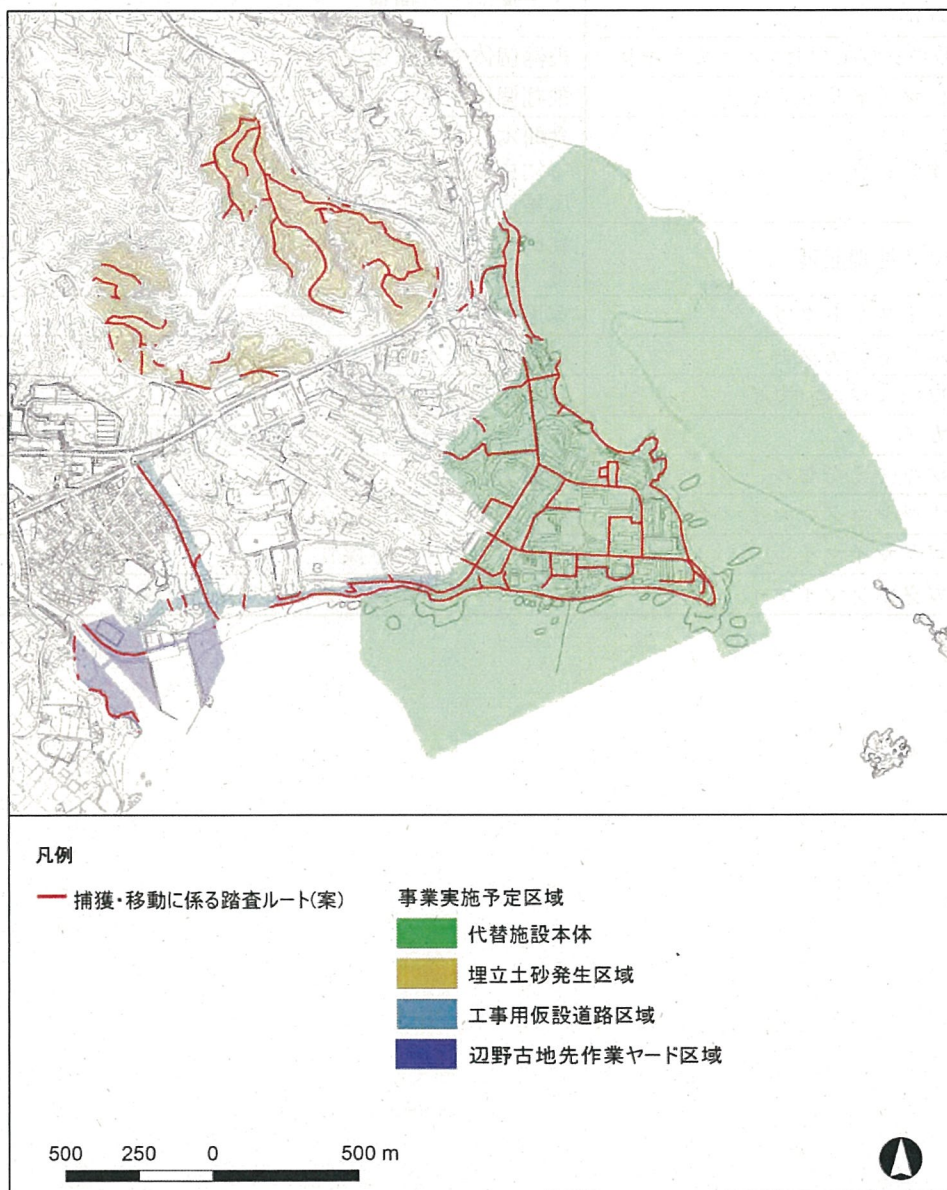


図-3.4.1 捕獲に係る踏査ルート案

表-3.4.1 樹林性及び湿地性の対象種の捕獲方法

種名	捕獲方法
イボイモリ	成体:夜間を含み転石・倒木下等の見つけ採り 幼生:タモ網による捕獲 卵:水域脇落葉下の見つけ採り
オキナワキノボリトカゲ	自力移動が見られない場合、見つけ採りによる捕獲
アマミタカチホヘビ	夜間を含み転石・倒木下等の見つけ採り
オニヤンマ	タモ網による幼虫の捕獲
オキナワサラサヤンマ	湿地周囲等の毛管帯*で幼虫の見つけ採り
リュウキュウトンボ	タモ網による幼虫の捕獲
ヒメミズカマキリ	タモ網による捕獲
コウトウコガシラミズムシ	タモ網による捕獲
ヒメフチトリゲンゴロウ	タモ網による捕獲
リュウキュウオオイチモンジシマ ゲンゴロウ	タモ網による捕獲
リュウキュウモウセンハナカミキリ	飛翔個体や樹木葉先での見つけ採り
オオシマミドリカミキリ	飛翔個体や樹木葉先での見つけ採り
フタオチョウ	食餌木であるヤエヤマネコノチチ、クワノハエノキ で幼虫を生息基盤ごと捕獲、及び冬季に食餌木周辺 広葉樹で蛹を生息基盤ごと捕獲
ヤママユ沖縄亜種	食餌木であるカシ類やイタジイで生息基盤ごと捕 獲
クニガミスゲドクガ	草地のスウィーピング法等による捕獲
キノボリトタテグモ	谷部の大径木樹皮で見つけ採り
リュウキュウゴマガイ	落葉下等の見つけ採り
ノミガイ	生息密度を計数の上、生息基盤ごと捕獲
サカヅキノミギセル	落葉下等の見つけ採り
オキナワヤマタカマイマイ	落葉下等の見つけ採り
ウロコケマイマイ	落葉下等の見つけ採り
トウガタホソマイマイ	クワズイモ葉茎や落葉下等の見つけ採り

*毛管帯:水が地下水面から毛細管の原理によって狭い砂つぶの間を上昇することにより、湿り気を含んだ砂のある場所を指す。